

研究会名: ライフサイクルハウス研究会

設立の目的

地域資源である木材の特性を最大限に活かし、建物の生涯（ライフサイクル）を通して”人”にも”自然環境”にも最適な新しい木質構法システム（ライフサイクルハウス システム）の研究開発を行う。

活動の内容

以下の5点を開発目標に掲げ、これまでに

- 1) 耐力壁の国土交通大臣認定の取得
- 2) 他工法との比較による環境性能の評価
(国際カンファレンス等で発表)
- 3) 実案件での設計・建設実証
の成果を得た。

- a) 半規格半任意の構法システムの構築
- b) 国の定める基準に準拠した構造性能
- c) 国の定める基準を超える環境性能
- d) 適切な建物のライフサイクルの設計
- e) 美しく、共感と呼ぶデザイン



壁倍率認定へ向けた性能評価試験の様子



本構法を用いた個人住宅